

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・専門誌等で、環境に対する取組みについて情報を開示している。													12.6						
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・水処理施設でのバイオガス発電や熱利用の導入促進など、再生可能エネルギー関連事業を実施。 ・太陽光発電事業団体へ投資している。							7.2							13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・電気使用量を大幅に削減した水処理方法の提案を行っている。 ・ハイブリッド車を積極的に導入している。													12.2	13	14	15			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・違法行為、不正行為を禁止する旨を就業規則に明記している。																	16	16.5	
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・違法行為、不正行為を禁止する旨を就業規則に明記している。																		16	
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている。									8.2	8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・情報管理の社内ルールを周知している。																		16	
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・取り扱っていない。																		16	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・お客様や協会社と一体となって、排水の浄化に取り組み、生態系への悪影響を防止している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・自社施工水処理施設の使用上リスクの洗出しと、リスクヘッジ手順を策定している。 ・緊急対応可能な組織体制を構築している。			3.9											12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・お客様からのクレーム報告書と対応策を作成し、社内共有体制を構築している。															9				
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・水処理施設でのバイオガス発電や熱利用など、環境に配慮した施設の導入促進を行っている。 ・電気使用量を大幅に削減した水処理方法の提案、施工を行っている。						6								12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・環境負荷低減のための高度処理や省エネなどの課題を解決する施設的设计・施工をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	地域貢献	□ 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・お客様の排水の水質や臭気など、地域への影響を把握改善し、水環境の保全に努めている。				4					9		11	12			14	15		17	
33	地域貢献	□ 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域のお祭りや防災活動に、参画している。				4								11				14	15		17
34	地域貢献	□ 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域事業発展に通ずる水処理提案を行っている。 ・地域の協力会社と共に、事業活動を行っている。 ・蓄積した水処理技術の地域外活用を行っている。									8	9		11	12	13					
35	組織体制	□ 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。									8	9									17
36	組織体制	□ 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営トップが法令順守（コンプライアンス）の重要性を社員に向けて発信している。																			16
37	組織体制	□ 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者（担当役員）を任命するとともに、個々の社員が水環境への影響を日々チェックし、改善している。																			16
38	組織体制	□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・お客様との直接対話の中で、ご意見ご要望をお聞きし、課題解決に努めている。																			16 17
39	組織体制	□ 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・工事施工とメンテナンス業務上の具体的なリスクを抽出検討し、対応策を実施している																			16
40	組織体制	□ 【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・法令基準に基づいた排水処理を行い、水資源保全に、取り組んでいる。																			16
41	組織体制	□ 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・リスクの洗い出しと各項目の更新対応を行いつつ定期的な訓練を実施している。										9		11			13 13.1				16
42	組織体制	□ 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・継続的な人材採用と教育、育成を行っている。 ・役員体制の新構築を行った。									8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）